事例No.	835
公表年度	R1
団体の属性	一般市
団体名	岐阜県瑞浪市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・公共施設活用 ・教育・子育て

事例種類	集約化・複合化事業＋転用事業

事例内容・タイトル

瑞浪北中学校施設整備事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き

集約化・複合化事業＋転用事業

事業の概要

岐阜県瑞浪市（人口3.7万人）「瑞浪北中学校施設整備事業」

老朽化している瑞陵中学校、釜戸中学校、日吉中学校の3校を統合し、瑞浪北中学校を新たに整備するとともに、統合前の日吉中学校を転用し、日吉小学校を整備する。

事業のポイント

＜事業の背景＞

- 瑞浪市内の児童生徒数の減少及び小学校、中学校の老朽化
- 将来的な維持管理コストの削減

- 3校を統合することにより施設保有量の適正化を図る。
- 既存施設を転用することで建替えに係るコストを削減する。



事業の効果

○ 3校を1校に統合することにより、長寿命化改修、建替えを行う場合と比較して約15億円の費用削減になる。
※ 長寿命化改修、建替え：約56億円 → 3校を1校に統合：約41億円

○ 中学校を小学校に転用することにより、転用しない場合と比較して約7億円の費用削減になる。
※ 転用しない場合（旧日吉小の改修）：約10億円 → 転用する場合（旧日吉小の除却、旧日吉中の転用）：約3億円

○ 釜戸中学校については、売却による売却費用効果（約3億円）も見込まれている。